

2024年度（2025年3月期） 第2四半期決算説明資料

2024年11月8日

H.U.グループホールディングス株式会社

（証券コード：4544）

- ※ 本資料では、記載している部分およびEBITDA(営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費)の数値を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。
- ※ 「親会社株主に帰属する当期（四半期、中間）純利益/純損失」を「当期（四半期、中間）純利益/純損失」と省略する場合があります。
- ※ 数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。
- ※ 各事業名等については以下のとおり省略する場合があります。

検査・関連サービス事業 : LTS (Lab Testing and its related Services)

臨床検査薬事業 : IVD (In-Vitro Diagnostics)

ヘルスケア関連サービス事業 : HS (Healthcare-related Services)

- ※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2023年度上期 : 1USD = 141.00 JPY 1EURO = 153.39 JPY

2024年度上期 : 1USD = 152.64 JPY 1EURO = 165.95 JPY

Executive Summary

連結

- 前年比増収増益（売上高 + 34億円、営業利益 + 25億円）
- グループ全体で事業の選択と集中を実施（P.19,20参照）

LTS

- ベース事業※の回復：ベース事業売上高 + 8%（YoY）
- 収益性改善施策
 - 限界利益改善は計画通り、固定費削減は一部遅れ
- H.U. Bioness Complexシステム移管スケジュールは一部見直し（移管完了を24年12月⇒25年3月へ延伸）

IVD

- Neuro試薬（YoY：2.4倍）を中心にベース事業は堅調に成長
- 血漿中pTau217/ β -アミロイド1-42比測定試薬をFDAへ申請

※ 新型コロナウイルス関連売上高除く

第2四半期業績概況

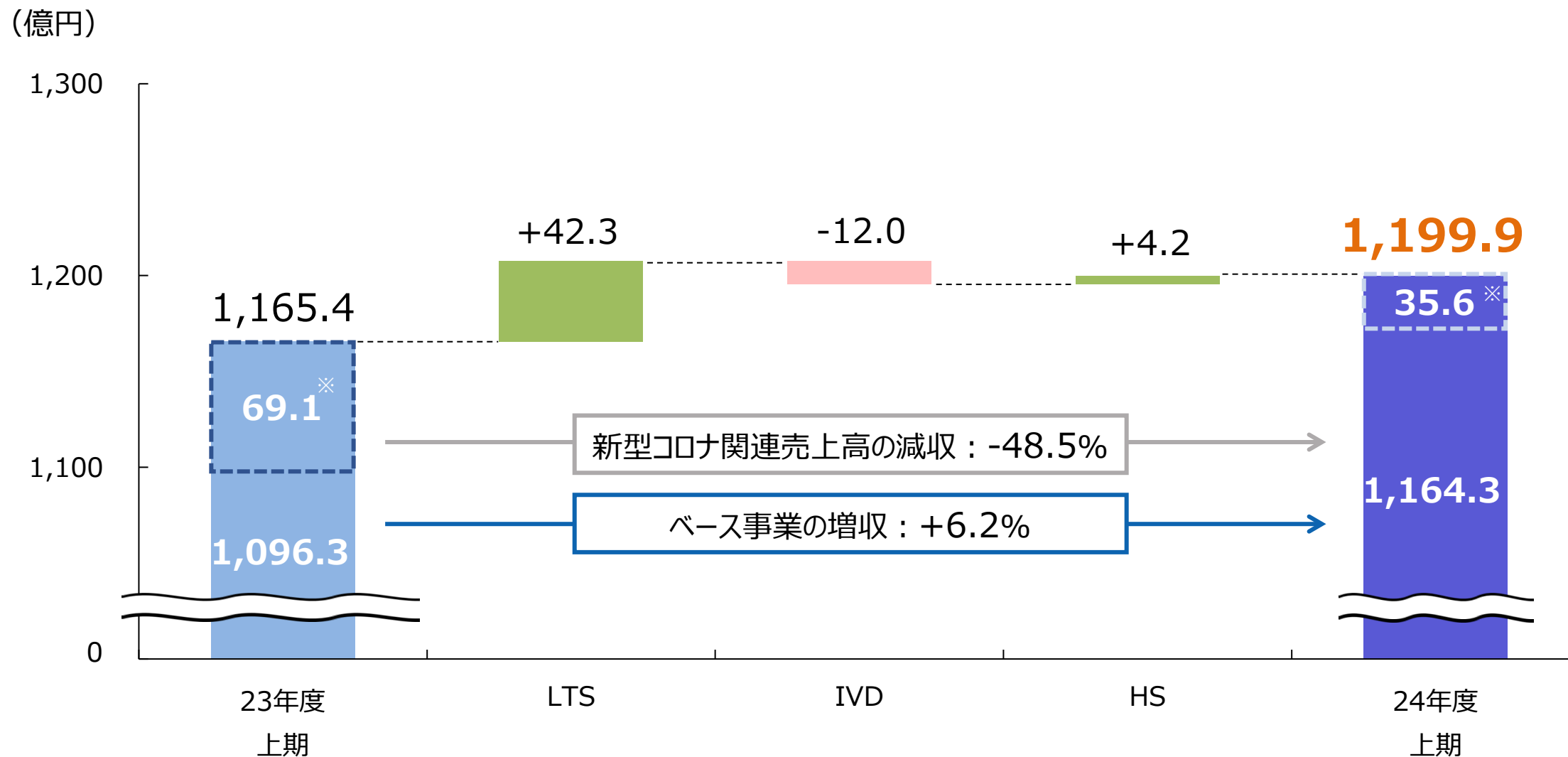
連結業績（対前年同期比）

（億円）

	23年度 上期		24年度 上期		対前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減	
売上高	1,165.4		1,199.9		+34.4	+3.0%
LTS	722.9		765.2		+42.3	+5.8%
IVD	302.2		290.2		-12.0	-4.0%
HS	140.3		144.5		+4.2	+3.0%
営業利益/損失[※]	-15.7	-1.3%	9.6	0.8%	+25.3	-
LTS	-61.9	-8.6%	-28.9	-3.8%	+33.0	-
IVD	68.1	22.5%	54.8	18.9%	-13.3	-19.5%
HS	5.6	4.0%	8.8	6.1%	+3.2	+55.8%
経常利益/損失	-15.7	-1.3%	-12.6	-1.0%	+3.1	-
中間純利益/純損失	-18.2	-1.6%	-8.2	-0.7%	+10.0	-
EBITDA	86.9	7.5%	111.3	9.3%	+24.4	+28.0%

※ 全社費用およびセグメント間取引消去を含む（23年度上期：▲27.6億円、24年度上期：▲25.1億円）

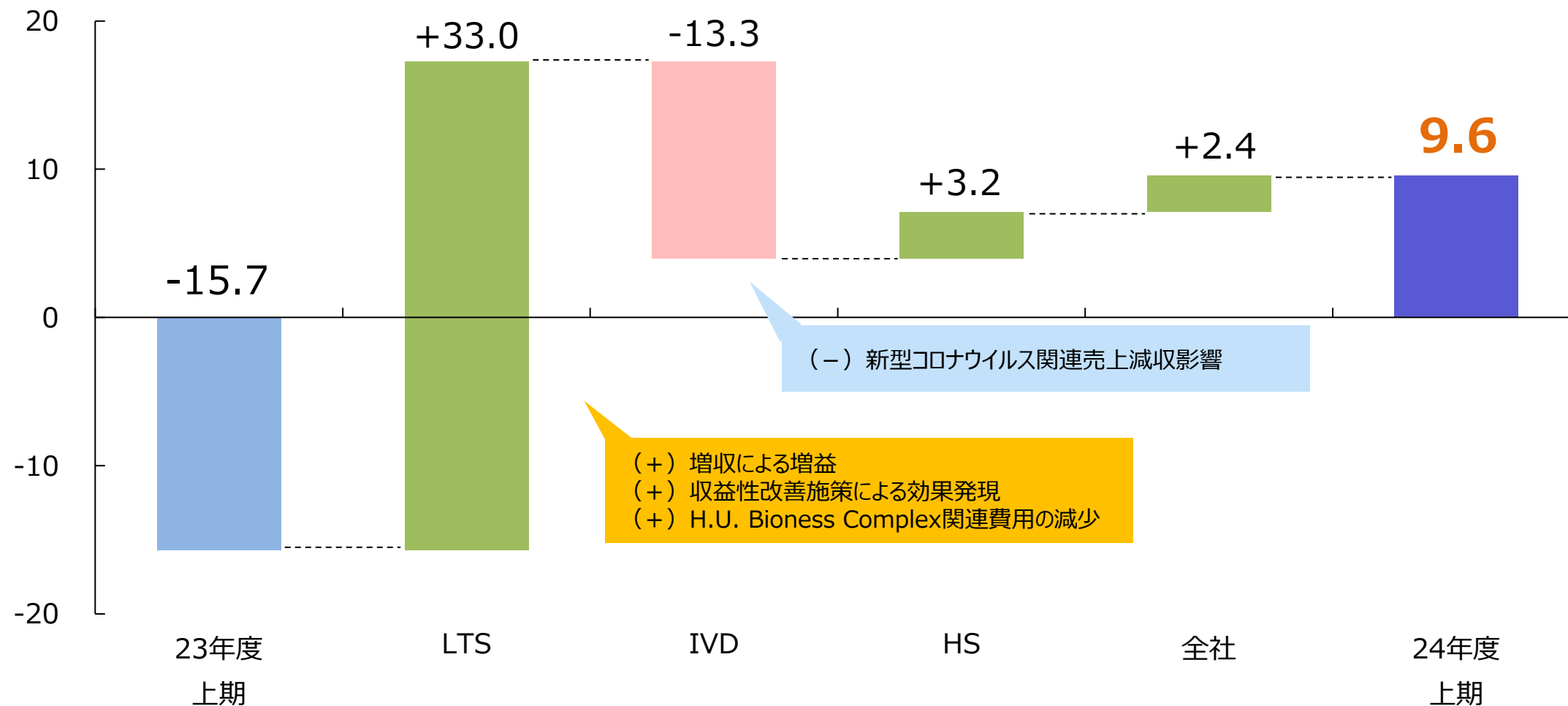
24年度上期連結売上高（対23年度上期比）



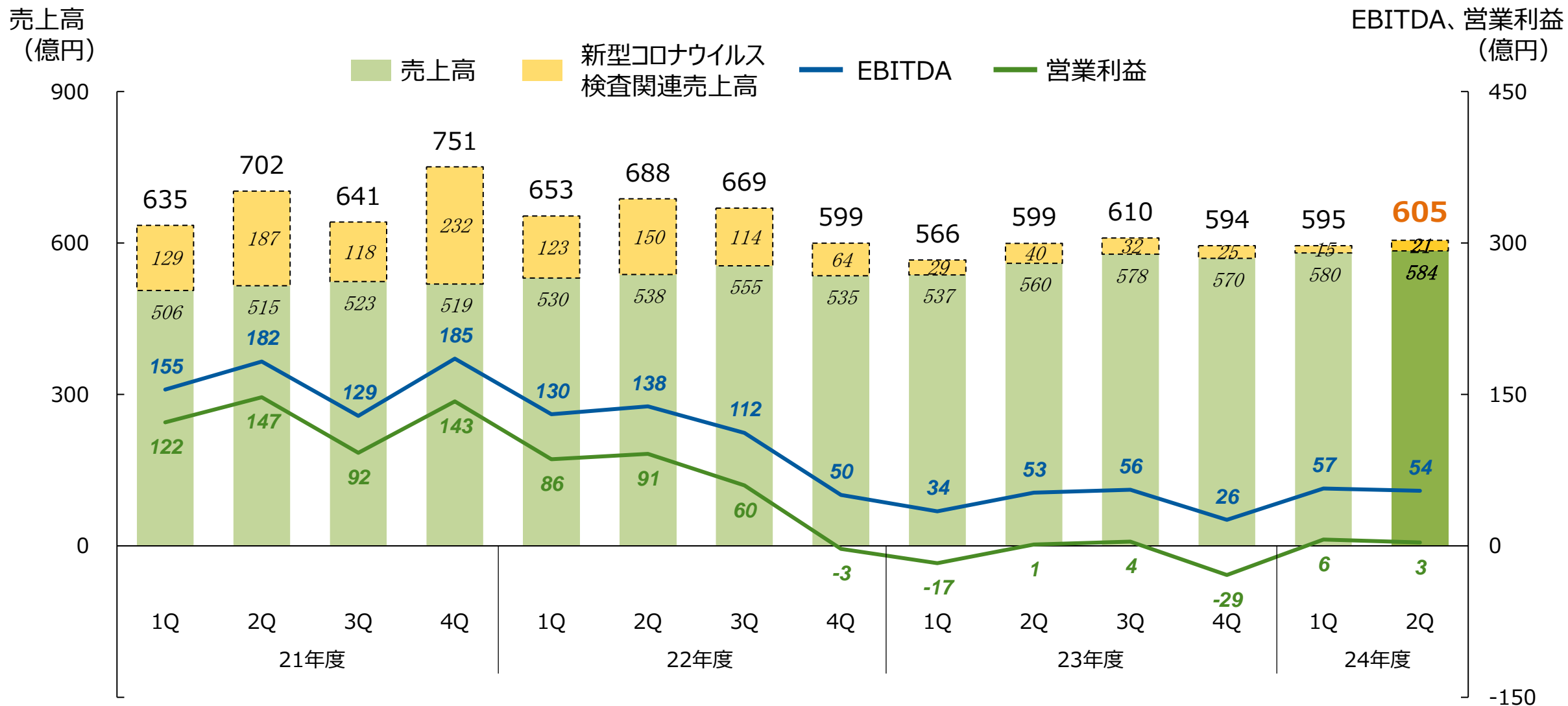
※ 新型コロナウイルス関連売上高

24年度上期連結営業利益（対23年度上期比）

(億円)



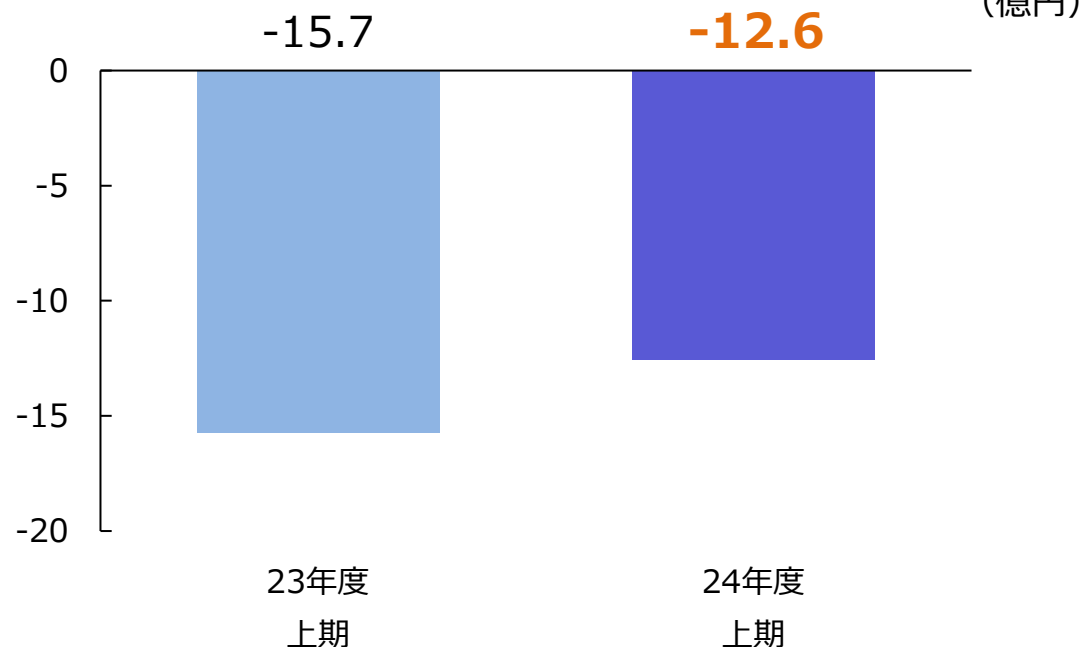
四半期毎の業績推移



連結経常利益/損失および中間純利益/純損失

経常利益/損失

(億円)

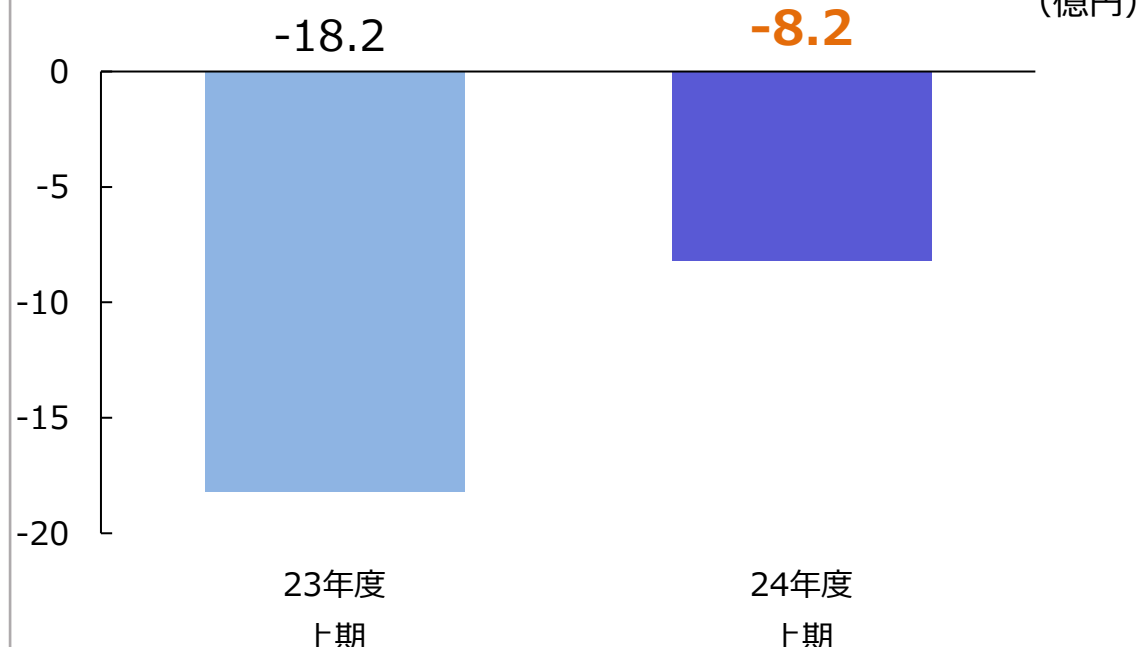


主な営業外損益

- ・為替差損 11.7億円
(前期：為替差益11.0億円)
- ・持分法による投資損失 6.2億円
【BMGL：5.6億円、平安JV：0.3億円】
(前期：7.4億円【BMGL：4.9億円、平安JV：2.3億円】)

中間純利益/純損失

(億円)



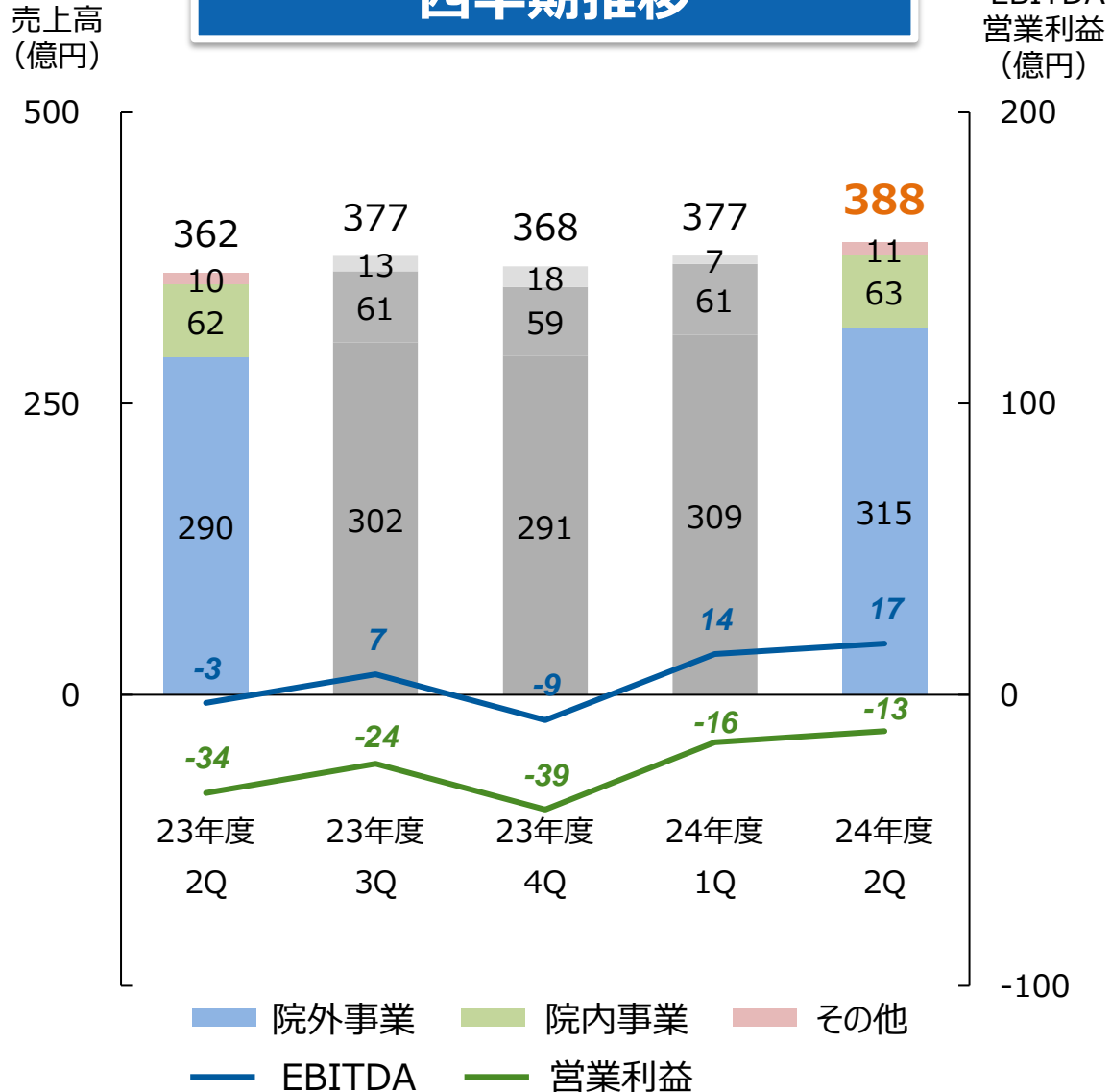
主な要因

- ・補償損失引当金戻入益 6.7億円
- ・関係会社整理損（平安JV） 8.2億円
- ・法人税等 ※ +7.5億円
(前期：-2.3億円)

※ 法人税等 +：有利差異、-：不利差異

LTS事業

四半期推移



対前年同期比

	23年度 上期	24年度 上期	対前年同期比 増減	
売上高	722.9	765.2	+42.3	+5.8%
院外事業	582.3	623.6	+41.4	+7.1%
院内事業	123.2	123.5	+0.3	+0.2%
その他	17.5	18.1	+0.7	+3.7%
EBITDA <small>利益率</small>	0.1 <small>0.0%</small>	31.4 <small>4.1%</small>	+31.3	-
営業利益 <small>利益率</small>	-61.9 <small>-8.6%</small>	-28.9 <small>-3.8%</small>	+33.0	-

売上高

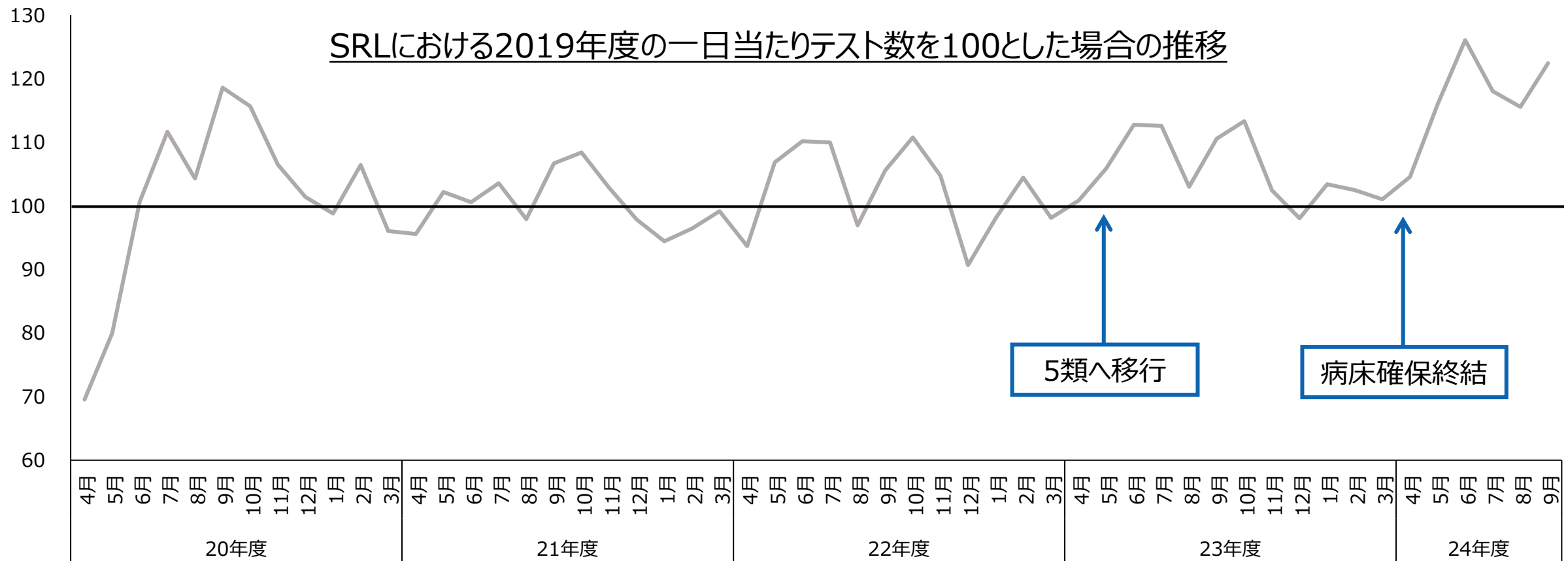
- 新型コロナウイルス関連：約7億円（前年同期：約24億円）
- 遺伝子関連検査の増加
- ベース事業（新型コロナ関連除く）：約8%の成長
- テスト数：+7%

営業利益

- 増収による増益
- 収益性改善施策による効果発現
- H.U. Bioness Complex関連費用の減少

LTS : テスト数の推移 (2020年4月以降)

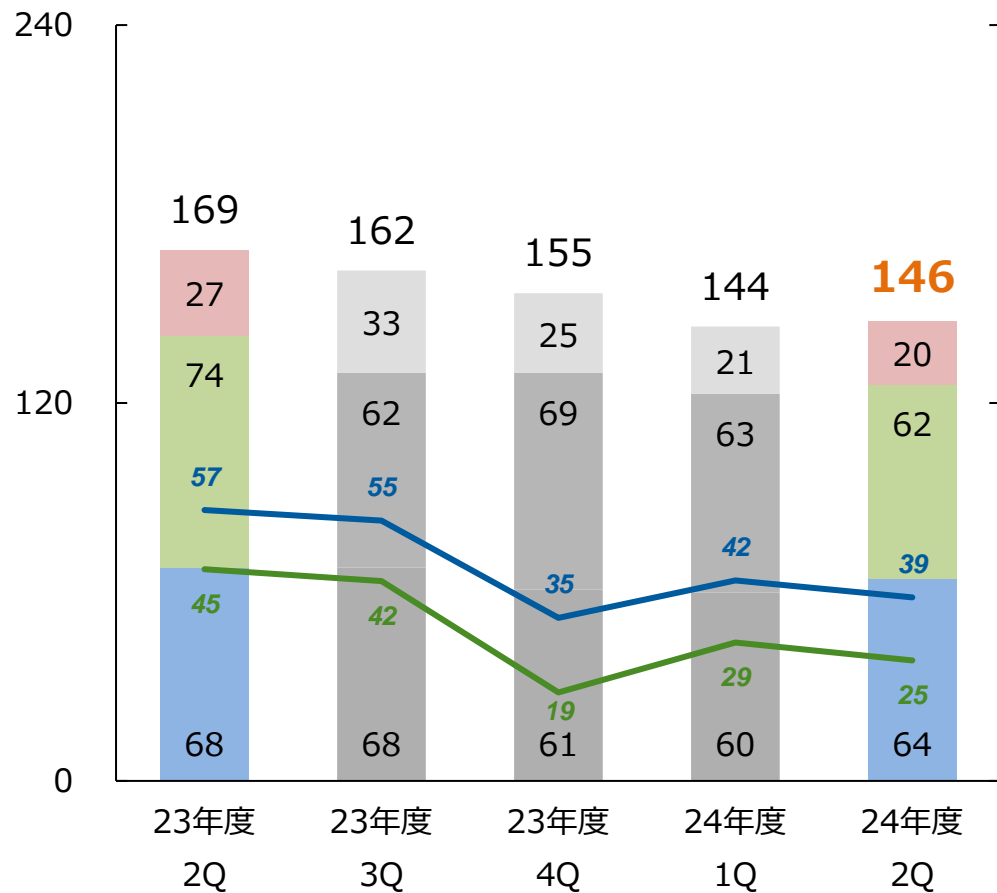
- 新型コロナの5類移行、専用病床確保の終結など環境変化等を背景としてテスト数は成長
- アフターコロナにおけるベースの成長が継続



IVD事業

四半期推移

売上高
(億円)



■ ルミパルス事業 ■ CDMO・原材料供給事業
■ その他製品 — EBITDA — 営業利益

EBITDA
営業利益
(億円)

対前年同期比

(億円)

	23年度 上期	24年度 上期	対前年同期比 増減	
売上高	302.2	290.2	-12.0	-4.0%
ルミパルス	128.7	123.9	-4.8	-3.7%
国内	113.2	97.4	-15.8	-14.0%
海外	15.6	26.6	+11.0	+70.8%
CDMO・原材料	126.1	124.8	-1.3	-1.1%
その他	47.4	41.4	-5.9	-12.5%
EBITDA 利益率	93.2 30.8%	81.3 28.0%	-11.9	-12.7%
営業利益 利益率	68.1 22.5%	54.8 18.9%	-13.3	-19.5%
ルミパルス 内販売上高	11.1	9.6	-1.5	-13.7%

売上高

- 新型コロナウイルス関連：約29億円（前年同期:約45億円）
✓ 主に国内ルミパルスの減収
- 海外ルミパルスにおけるNeuro試薬の伸長を中心にベース事業が堅調に成長

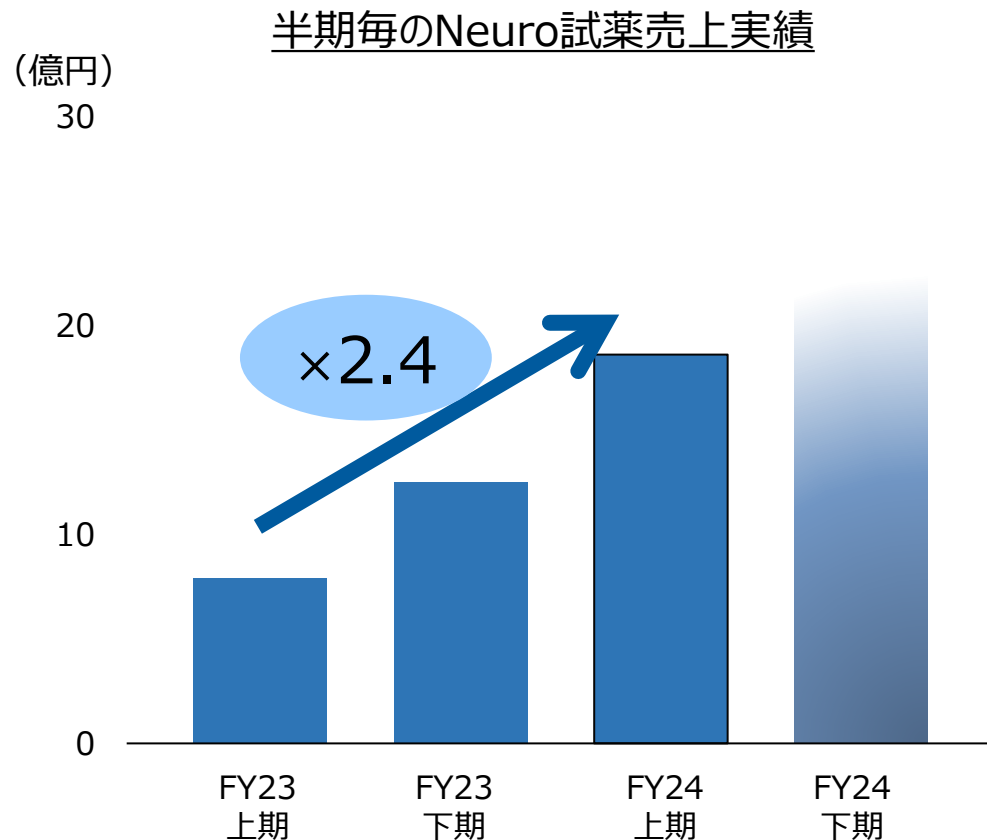
営業利益

- 新型コロナウイルス関連売上高の減少にともない利益が減少
為替影響（売上高：+13億円、営業利益：+2億円）

IVD : Neuro関連のアップデート

Neuro売上実績

- 売上高は前年から引き続き大きく成長
(FY23上期比で約2.4倍)



FDA申請

- 血漿中pTau217/ β -アミロイド1-42比測定試薬を米国FDAへ承認申請 (2024年9月)
- 本試薬はBreakthrough Device[※]に指定



2024年9月26日

各位

会社名 富士レビオ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 石川 剛生

血漿中の pTau217/ β -アミロイド 1-42 比を測定する
全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス[®]G シリーズ」用試薬の
米国 FDA への承認申請について

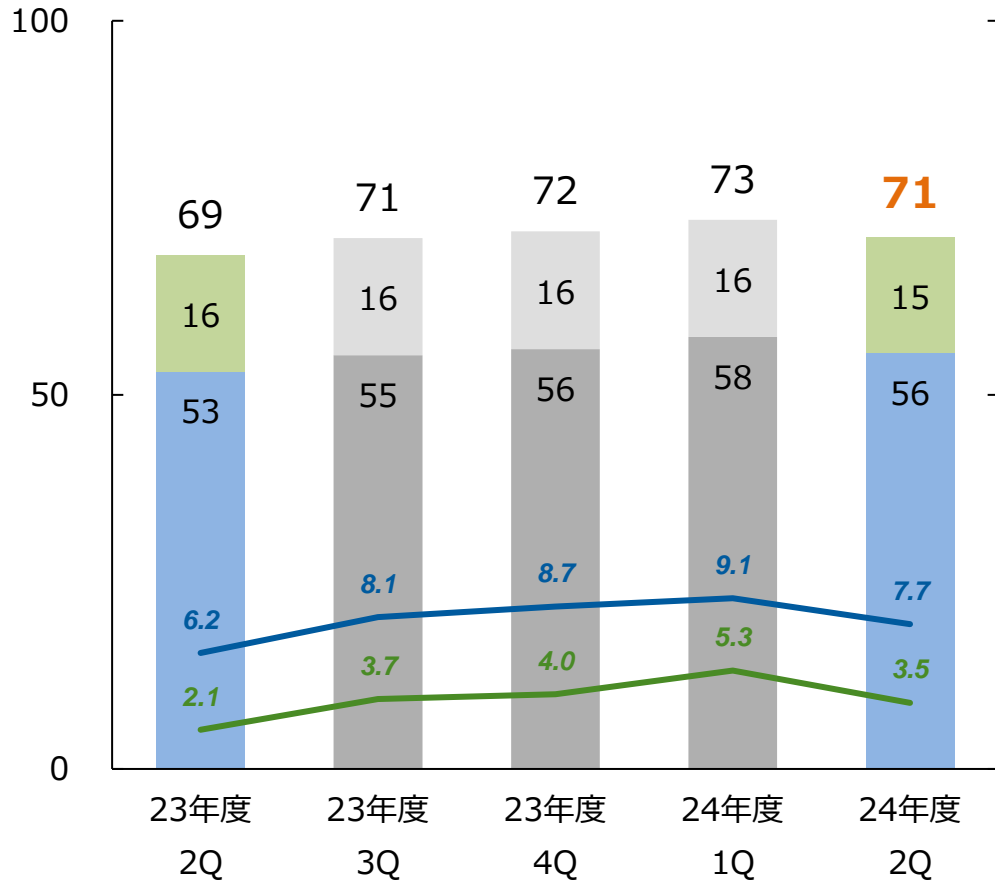
当社の完全子会社である Fujirebio Diagnostics, Inc. (CEO : Monte Wiltse、所在地 : 米国ペンシルバニア州マルバーン、以下「FDI」) は、このたび、全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス[®]G シリーズ」で使用する、血漿中の 217 位リン酸化タウ蛋白 (pTau217) と β -アミロイド 1-42 の比率を測定する検査試薬 (以下「本試薬」) について、米国食品医薬品局 (以下「FDA」) に承認申請を行いましたのでお知らせします。なお、本試薬は FDA の Breakthrough Device^{※1} に指定されております。

※ FDA によるレビューを早期に進めることを目的とした米国の先駆け審査認定制度

HS事業

四半期推移

売上高
(億円)



■ 減菌関連事業 ■ 在宅・福祉用具事業
— EBITDA — 営業利益

EBITDA
営業利益
(億円)

対前年同期比

(億円)

	23年度 上期	24年度 上期	対前年同期比 増減	
売上高	140.3	144.5	+4.2	+3.0%
減菌関連	109.1	113.4	+4.3	+3.9%
在宅・福祉用具	31.2	31.1	-0.1	-0.3%
EBITDA 利益率	13.6 9.7%	16.9 11.7%	+3.3	+24.2%
営業利益 利益率	5.6 4.0%	8.8 6.1%	+3.2	+55.8%

売上高

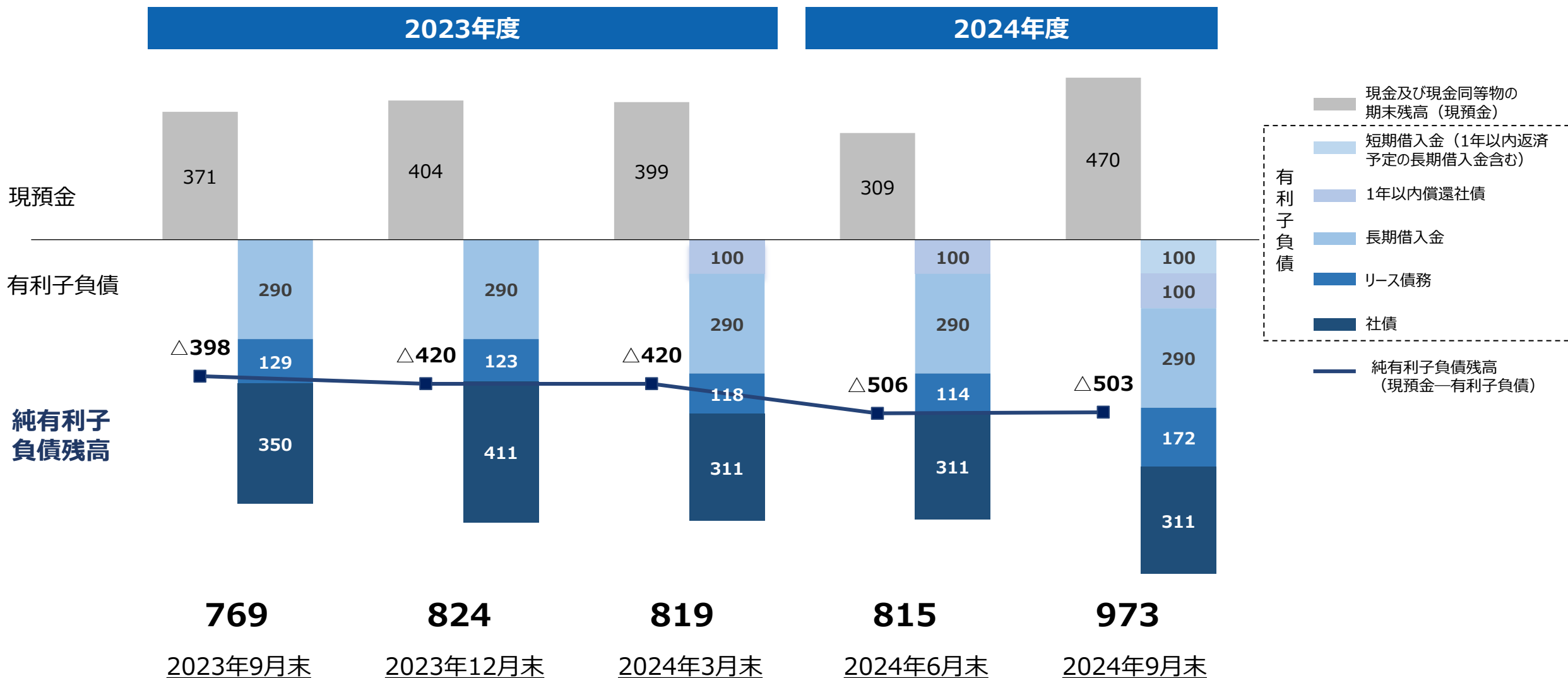
- 減菌関連事業：堅調に推移

営業利益

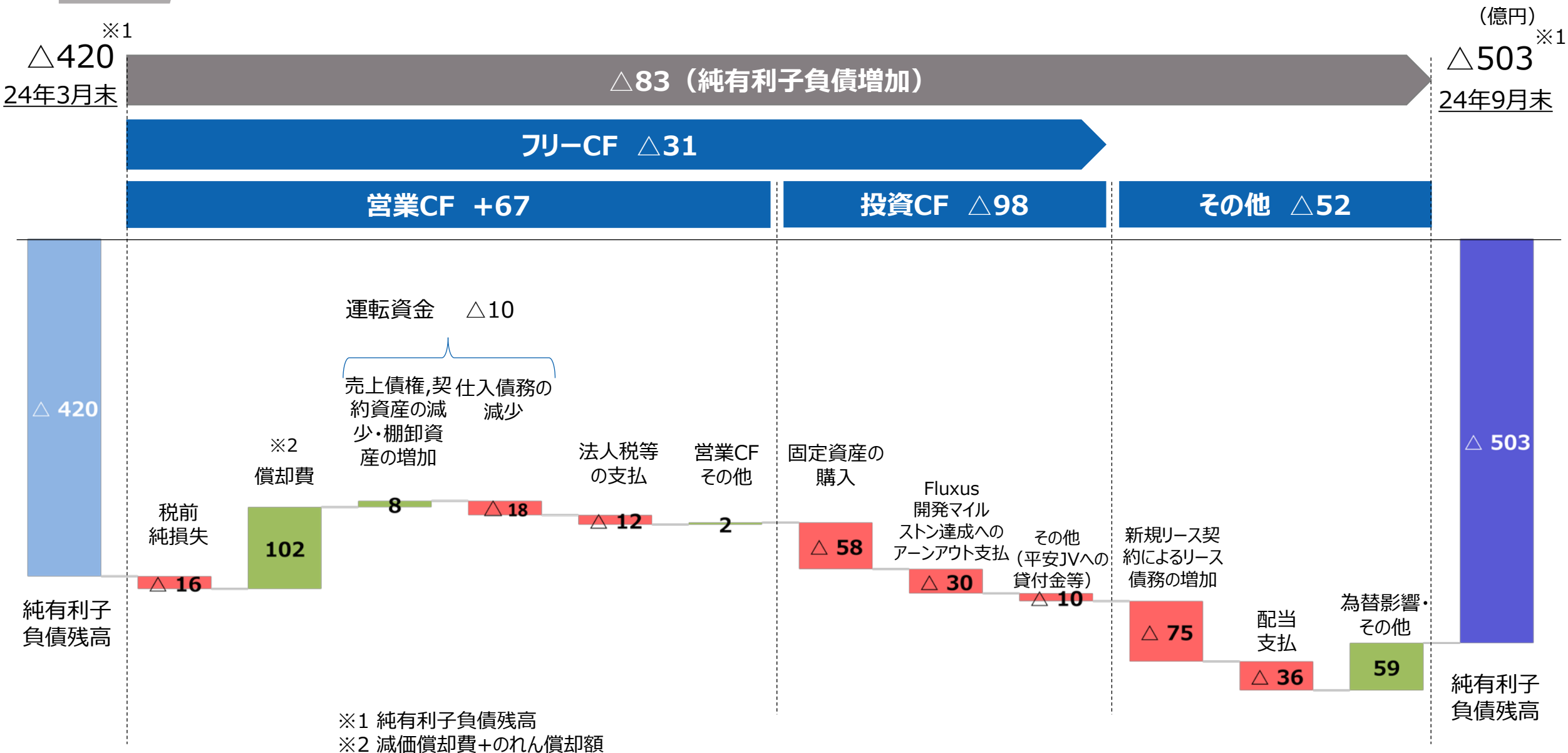
- 減菌関連事業の収益性改善

現預金・有利子負債残高

(億円)

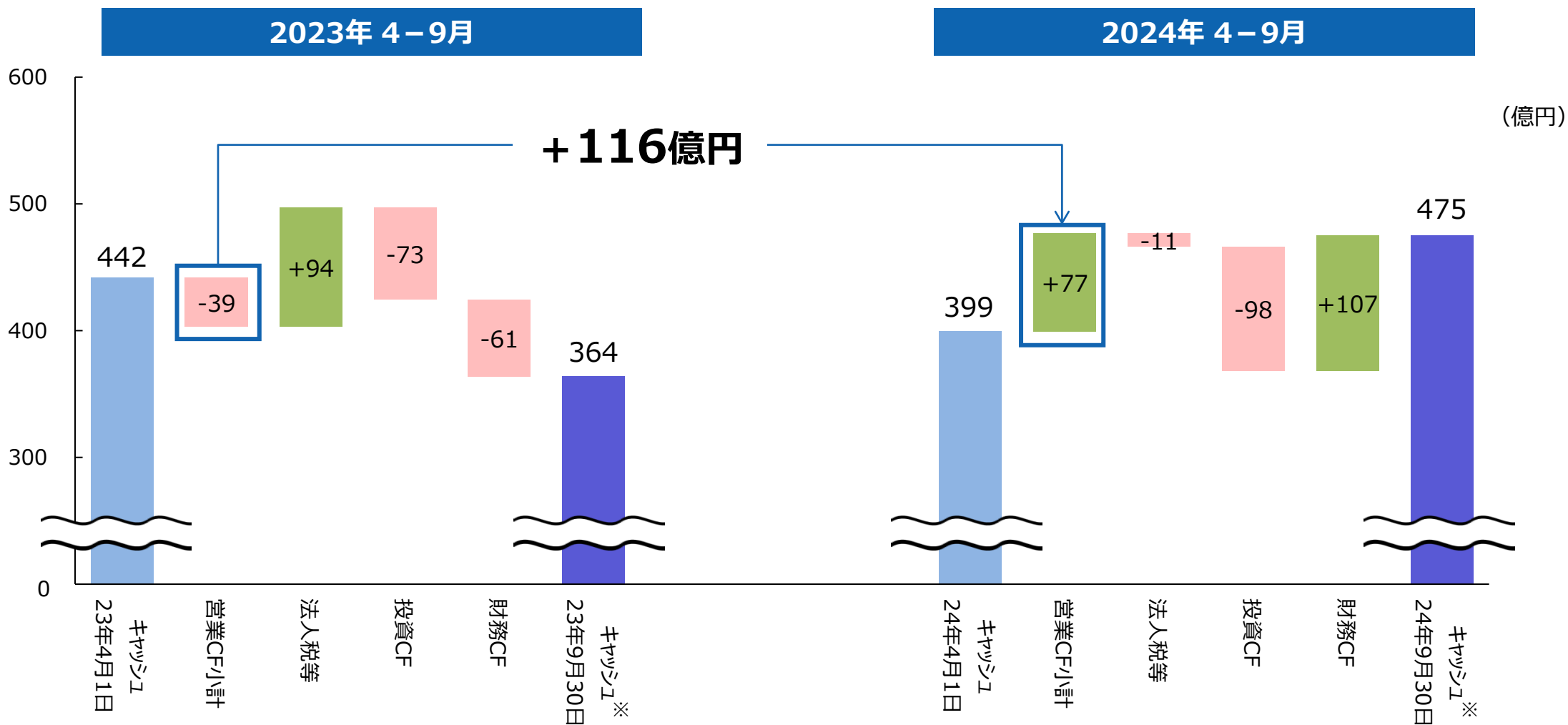


2024年度上期連結キャッシュ・フロー（CF）の分析



キャッシュフロー（対前年同期比）

法人税等支払い前の営業CF（小計）は116億円増加



※ 現金及び現金同等物に係る換算差額調整前

2024年度通期業績の見通し および戦略の進捗

通期連結業績予想の修正

- 営業利益（EBITDA）は不確定な要素があるため期初計画を据え置き
- 為替差損、整理損失を見込むため、経常利益、当期利益を見直し

	2023年度 実績 (参考)	2024年度 (億円)					
		期初想定 (5月10日公表)	通期見通し (11月8日公表)	対前年同期比		対期初計画比	
売上高	2,370	2,410	2,410	+40	+1.7%	-	-
EBITDA	168	310	310	+142	+84.2%	-	-
営業利益	-40	100	100	+140	-	-	-
経常利益	-72	95	85	+157	-	-10	-10.5%
当期純利益	-76	70	50	+126	-	-20	-28.6%

期初の想定を上回る可能性のある要素

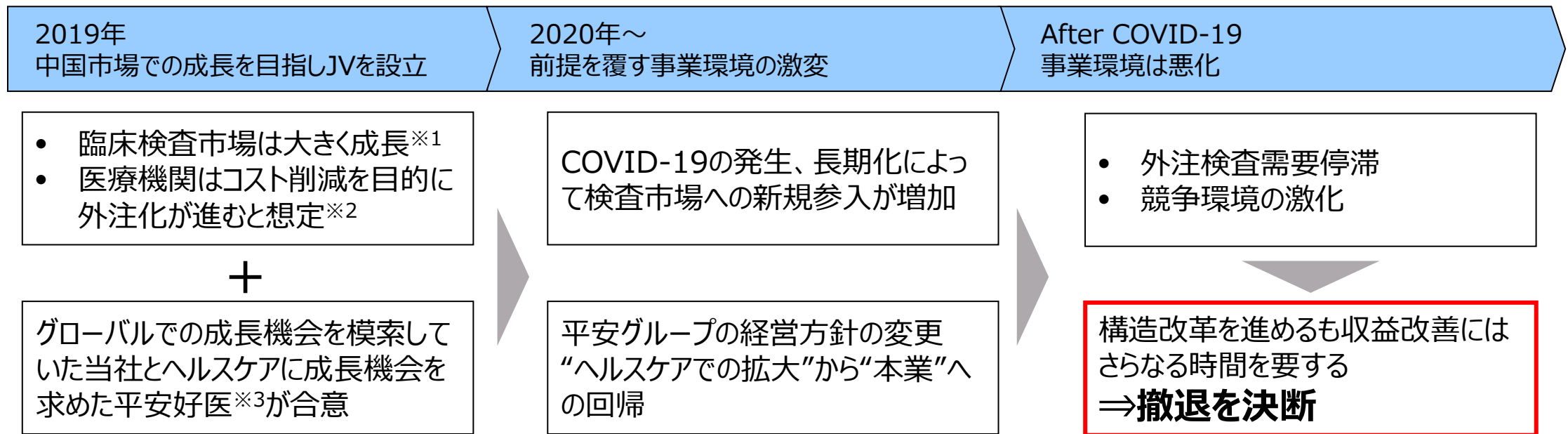
- 検体数の回復
- ルミパルスNeuro試薬の販売伸長
- 新型コロナ関連検査需要の増加

期初の想定を下回る可能性のある要素

- 収益性改善施策の効果発現遅延 (LTS事業全体)

事業の選択と集中（1/2）

- 中国LTS事業からの撤退（平安JV）
 - 営業外費用：下期以降は平安JVにかかる持分損失計上は解消
 - 特別損失：関係会社整理損として約8億円を計上（追加の特別損失の計上は限定的）
 - キャッシュアウト：清算にともなって今後約65億円のキャッシュアウトを見込む



※1 年率20%以上の成長、3.3兆円規模の市場（2014年）

※2 外注率は3%程度

※3 2015年に設立された平安グループにおける医療・ヘルスケア事業領域において画像診断や検体検査を組み合わせた総合的検査サービスを提供する戦略子会社

事業の選択と集中 (2/2)

- LTS : CRO^{※1}事業からの撤退 (SRLメディサーチの事業譲渡)
 - IVD : 海外ルミパルス^{※2}の選択と集中
- ▶ PL影響は軽微

治験事業 (CRO含む) の変遷

~2010年代初頭

慢性疾患 (糖尿病など)
の治験を中心に市場が
拡大

⇒安定的に利益創出

~2020年

事業環境の変化

- グローバル企業の台頭
- 国際共同治験の増加

⇒CRO事業に特化^{※2}
(治験検査と臨床研究検査をSRLへ承継)

~2024年

CRO事業の規模拡大ができず
収益改善の見通しが立たず

⇒撤退を決断

韓国ルミパルス事業の変遷

2010年
韓国でのルミパルス事業
開始

2020年
戦略の転換
(国内ルミパルス、CDMO、Neuroにフォーカス)

製品の登録/再登録の要求が年々厳格化

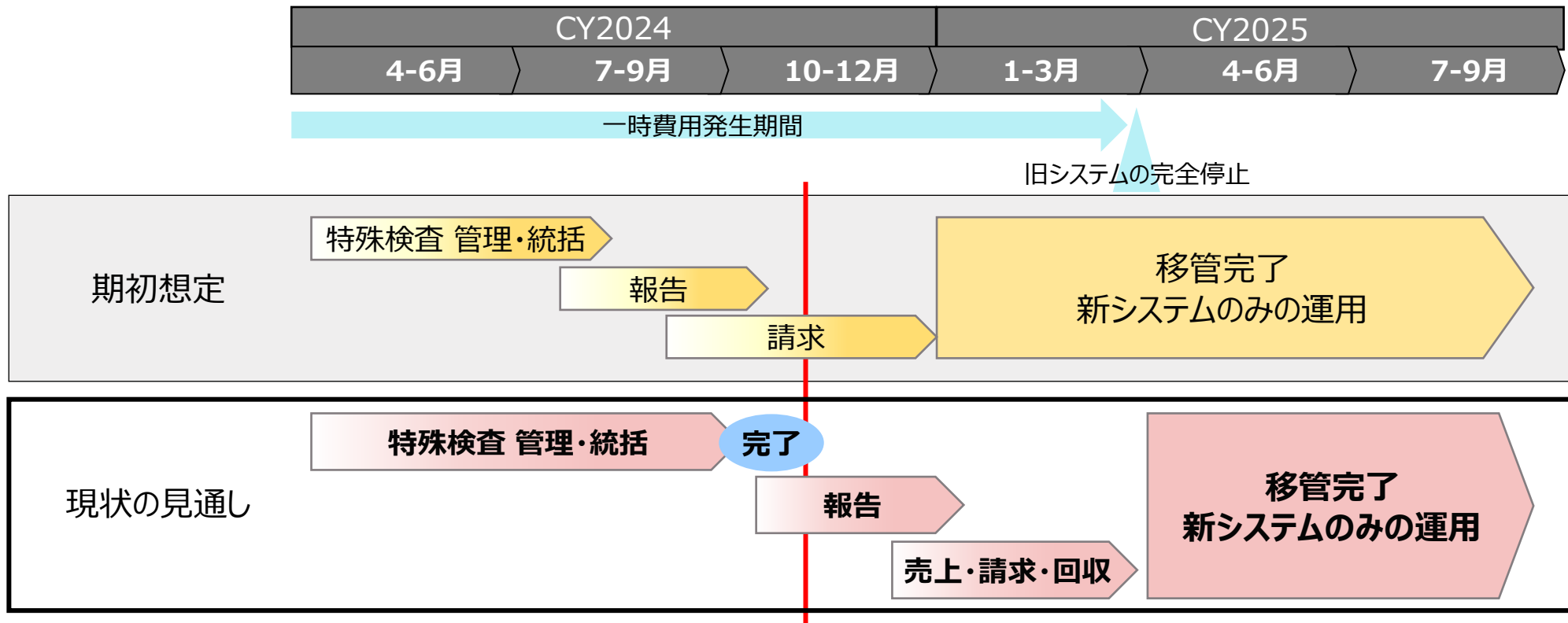
2024年
戦略に沿って事業撤退を決断

※1 Contract Research Organization (医薬品開発受託機関)

※2 2019年9月19日付「当社連結子会社間の吸収分割に関するお知らせ」参照

H.U. Bioness Complex 移管完了までのスケジュール

- 細菌検査にかかるシステム移管に時間を要したため、移管完了は25年3月末へ延伸
 - 特殊検査システム：10/24に移管完了、報告システム：移管（11/6）、売上・請求・回収システム：3月完了予定
 - 期初計画比で、移管にかかる一時費用の増加と減価償却費の減少を見込む（Appendix参照）
- 25年4月以降は新システムのみでの運用



Appendix

H.U. Bioness Complex関連費用・発現効果の状況

- 24年度1Qよりシステム関連費用等、H.U. Bioness Complex周辺の影響を含んだ数値に変更
- 通期見通しについては移管スケジュールの見直しにともなって一時費用の増加と減価償却費の減少を見込む

(億円)

	23年度実績	24年度実績		24年度 通期見通し (期初)	24年度 通期見通し (最新)
	通期	1Q	2Q		
一時費用	37	5	4	26	31
減価償却費	58	15	15	75	71
ランニングコスト ^{※1}	63	15	15	64	62
コスト合計	157	34	35	165	164
効率化効果 ^{※2}	+11	+3	+3	+14	+14

※1 賃料含む

※2 2022年度対比

【連絡先】

H.U.グループホールディングス株式会社

IR/SR部 ir@hugp.com

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。